

【件名】

中野区立小中学校施設整備計画（改定版）にかかる進め方について

【要旨】（目的・内容・対象・時期・今後の方向等）

区は、「中野区立小中学校施設整備計画（改定版）」に基づき、区立小中学校の改築を進めている。現計画においては、令和7年度以降に小中学校4校の改築計画について、また、令和8年度を目途に計画の見直しを予定しているところである。

今後の小中学校施設整備について、設計、工事経費や整備スケジュール等の精度向上を図っていくため、下記の通り、令和7年度以降の小中学校の施設整備に向けた具体的検討および中野区立小中学校施設整備計画（改定版）の見直しに向けた検討を行う。

1 小中学校改築にかかる具体的な検討

現計画に定める整備予定の学校のうち、令和7年度以降に計画開始予定の4校について、基礎的調査及び改築整備等に向けた検討を行う。

（1）対象校

第二中学校、桃花小学校、北中野中学校、武蔵台小学校

（2）検討手法

①基礎的調査

現地調査を実施するとともに、施設整備に向けた法的規制、敷地条件、周辺環境等の現況を把握し、改築校整備に向けた条件整理を行う。

②改築整備等に向けた検討

対象校に係る改築パターン等の検討や、改築ボリュームと標準配置案の検討を行い、あわせて改築期間中の代替校舎整備の検討を行う。

また、上記検討を反映した設計及び工事の工期および概算経費の算出を行う。

2 中野区立小中学校施設整備計画（改定版）の見直しに向けた検討

（1）現計画以降の改築校の選定および基礎調査

築年数、耐久度調査結果、代替校舎の使用順序、改築校の地域バランス（地域内での連続改築の回避）等を考慮した視点を整理する。

また、上記視点を踏まえ、現計画以降の改築予定校11校のうち先に改築すべき学校（6校程度）を選定する。

さらに上記で選定した学校にかかる法的規制、インフラ等の基礎的条件確認、現地調査及び整備スケジュールおよび工事に影響を与える各種調査を行う。

（2）学校施設の改築及び環境改善・長寿命化改修の基本的方針の整理・検討

各学校の耐久度調査の結果等を踏まえた学校施設にかかる長寿命化の基本方針を検討する。

(3) 今後の小中学校施設整備計画にかかるロードマップ検討

令和8年度以降の10年～15年間程度の小中学校施設にかかる改築、環境改善及び長寿命化改修のロードマップを検討する。

3 今後の予定

令和6年4月～ 見直し検討業務開始

令和8年度 中野区立小中学校施設整備計画改定予定